

連 隊 創 隊 3 1 周 年 記 念 行 事



発行所
 第3後方支援連隊
 第1科 広報
 〒664-0014
 兵庫県伊丹市広畑1-1
 電話 072-781-0021
 内線 3403

記事内容

- 1面 連隊創隊31周年記念行事、第3師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事
- 2面 令和5年度自衛官候補生課程
- 3面 令和5年度春季演習会場整備、令和5年度自衛隊統合防災演習
- 4面 親父の一言
- 5面 期待の新戦力、私の趣味
- 6面 地元自慢、定期昇任・定年退官者の紹介



祝 第3後方支援連隊創隊31周年

記 念 式 典

令和5年4月22日(土)、千僧駐屯地において連隊創隊31周年行事を挙行了。式典はコロナ禍の収束に伴い3年ぶりにOB会をはじめとして関係企業、協力団体等から120名の参列をいただき実施した。

連隊長上原1佐は「諸先輩から脈々と引き継いでいる栄えある連隊の歴史と伝統をさらに発展させて、未来へ受け継ぐことをお誓いする」と式辞を述べ、また宮武OB会長及び第6代連隊長岩崎親裕様より祝辞を賜った。

訓練展示では連隊の選抜らっぱ手及び連隊格闘指導官による新旧を交えた訓練展示を実施するとともに、

装備品展示においては各職種特有の装備品を展示した。

祝賀懇親会においては現役自衛官と参加者が終始和やかに歓談をはずませるとともに、新編部隊である偵察戦闘直接支援隊を紹介し、連隊OB会、三整会から応援旗が授与される等盛況のうちに終了した。



式辞を述べる第6代連隊長 岩崎様



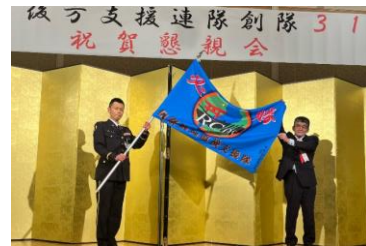
祝辞を述べるOB会 宮武会長



格闘訓練展示



らっぱ吹奏



連隊OB会からの応援旗授与



装備品展示

師団創立記念行事

令和5年5月21日(日)千僧駐屯地において、第3師団創立62周年・千僧駐屯地創設72周年記念行事が挙行された。

連隊は観閲式を始め各種イベント・行事に参加し、記念行事の目的達成に寄与した。



装備品試乗



観 閲 式

令和5年度自衛官候補生課程



修了証書授与

令和5年3月27日（月）から6月30日（金）までの間、千僧駐屯地において連隊として初となる令和5年度自衛官候補生課程教育を担任・実施した。

19名の女性自衛官候補生に対し、陸士としての資質を養うとともに、各職種共通の基礎的知識及び技能を修得させ、自衛官としての基礎を確立した。

また、6月28日（水）千僧駐屯地において自衛隊協力団体及びご家族のご臨席を賜る中、修了式を実施し、自衛官としての自覚と就学・勤務意欲を振起させるとともに、今後の活躍を祈念した。



体力検定



入隊式記念撮影



宣誓



25km行進訓練



掩体構築



基本教練



戦闘訓練



個人備装



検定射撃

令和5年度方面隊統制演習場春季整備支援



洗 濯 支 援



車 両 整 備



燃 料 交 付



施 設 器 材 整 備

令和5年4月10日（月）から4月21日（金）までの間、あいば野演習場において実施された令和5年度方面隊統制演習場春季整備において兵站・衛生支援を実施した。
第1整備大隊及び第2整備大隊が車両、施設、需品の各種整備を、補給隊が燃料補給、入浴及び洗濯支援を、衛生隊が衛生救護支援を実施し、被支援部隊が最大限の機能を発揮するため、演習場定期整備の任務達成に寄与した。

令和5年度自衛隊統合防災演習



関 係 機 関 等 に よ る 見 学



整 備 所



命 令 下 達



糧 食 交 付



救 護 所



前 進 開 始



車 両 整 備



入 浴 施 設



生 地 で の 浄 水 作 業

令和5年6月26日（月）から6月30日（金）までの間、千僧駐屯地及び和歌山県内において実施された令和5年度自衛隊統合防災演習に参加した。
師団段列地域候補地へ支援施設を推進し、開設及び運営を実施するとともに、近傍河川を利用した浄水を実施する等、計画に基づく支援要領を確認した。
また、関係機関等による見学が行われ、理解促進を図った。

親父の一言



連隊最先任上級曹長 小林 毅
准陸尉

6年たち、その自衛隊人生を振り返って皆さんに「一言」

仕事がある程度自分の判断で出来るようになる頃に、人はこれまでの経験から仕事の達成が感覚的に「見える」ようになってくる。そして、上司の目を離れて最後まで自分の仕事を自分でやり切れるという意識になってくる。そうなる、最後の最後で詰めるが甘くなり、油断や怠慢が出て、仕事が雑になってくるのもこの時期である。

仕事の全体像が見えるようになってくると、人は効率化を図れるようになってくる。しかし、そこには落とし穴があり、それは「効率化と手抜き境界線」が見えていないとハマってしまう落とし穴である。効率化の条件で、絶対に忘れてはならないことは、仕事の成果の品質を下げてはいけないということである。ここを見失うと、効率化という建前の手抜きが生まれ始める。そして、この効率化と手抜きの罠にハマってしまいがちなのが、仕事の「詰め」の部分である。

仕事のメドが立ち、詰めに入る部分はゴールが一番よく見え、そこに油断が生まれやすいのである。私の趣味の一つに登山があり、登山でも九合目以降はケガをしやすと言われるが、仕事でも何でも一緒で最後の「詰め」の部分でミスが出やすい。最後の最後まで丁寧にやり切るといいたい。態度が大事であり、その分かれ道で一人前と半人前の差が出ると言える。

最後に、皆さんは「3つの『つ』」という言葉を知っていますか？それは、「詰め・繋がり・積み重ね」であり、私も業務を行う上で大事にしている言葉です。参考にしてみてください。



第1整備大隊最先任上級曹長 野瀬 良治
陸曹長

令和5年3月から第1整備大隊最先任上級曹長に上番しました野瀬曹長です。

私は平成19年に第3後方支援連隊に転属してきましたが、それまでは桂の補給処で勤務していました。当時陸士だった私は、他部隊から転属してきた先輩陸曹の方々から「こんなところ（補給処）に長くいてはいけない」、「こここの部隊（機関）だめだ」等々の話をよく聞かされるたびに、他部隊を知らない私は自然と補給処で勤務することに後ろめたさを感じていました。

今思えば、その陸曹の方たちは悪気があつて言っていたのでは無く、前の部隊に強い誇りを持っていったのだと思います。この後方支援連隊も多職種、他部隊から多くの隊員で編成された部隊です。当然、今の部隊より前の部隊に誇りを持っている隊員も多数います。自分の職種や部隊に誇りを持つことは、自衛官にとって大変重要なことであり、部隊を強くさせるための基本的要素だと思えます。しかし、今自分はこの部隊で勤務しているのか、今自分のポジションは何なのかということ客観的に考えて後輩隊員に話さなければ、部隊にとって悪影響を及ぼすことになるということを認識しなければなりません。

この第3後方支援連隊が最初の部隊となる隊員が、これからの自衛隊人生最後まで誇りを持って行きたい。この第3後方支援連隊に属する隊員が、これからの自衛隊人生最後まで誇りを持って行きたい。この第3後方支援連隊に属する隊員が、これからの自衛隊人生最後まで誇りを持って行きたい。



本部付隊先任上級曹長 田浦 勝裕
陸曹長

みなさんこんにちは、本部付隊先任上級曹長の田浦曹長です。早いもので2年と数カ月の上番期間が過ぎました。この上番間、隊長のご指導、先輩、後輩のご協力とご理解により大きな問題なく勤務させていただきました。ありがとうございます。

さて私も入隊26年が過ぎる年を重ね、部隊勤務の中で猛烈に大切と感じている事は、「信頼関係の構築」です。

「信頼」とよく言いますが、信頼は、勝ち取るためには時間、労力を莫大に費やしますが、失うときは一瞬です。

この「信頼」を男女問わず、幅広い年齢層の部隊の仲間と早期にかつ強固なものにする事が出来るかといまだ模索中です。特に感慨深い事は、今年度入隊し配置された隊員が息子と同年齢であることです。私が長男に対して今の新隊員に対し指導する事、言葉は、息子にはしませんが掛けません、というかできません。なぜなら私の息子は、「自衛官」ではないからです。なにが言いたいのかといいますが、その新隊員とは、有事の際、危険を顧みずともに協力し合い行動をするからです。

新隊員は言います「親父にも言われたことありません。」そうです私も「息子には言ったことありません。」なぜならあなたは私の「家族」ではなく「仲間」だからです。親子ほど年が離れていますが、私は息子ほどの年の隊員にも助けられ勤務できています。若い隊員の皆さん私たちの年ほどの先輩方が口うるさく言いますが、先輩から先任だからではなく、仲間としての言葉です。どうかこのねじ曲がった「親心」にこれからはお付き合いください！お互い助けあって日々澆刺と勤務していきましょう！



第1整備大隊 本部付隊
陸士長 平鍋 凱

平鍋士長は、福井県出身、職種は化学で令和3年3月に一般陸曹候補生として入隊、前期を大津駐屯地、後期を守山駐屯地で過ごし、令和4年9月第3後方支援連隊第1整備大隊本部付隊化学整備班に配属になりました。性格は明朗活発で元気があり、正義感が強く素直で前向きです。小中高で野球、空手、サッカーを嗜むなど広域多岐に渡る趣味・特技を保有しており、令和4年度大隊銃剣道練度判定（新隊員の部）では3位に輝くなど、大隊銃剣道のホープとしても期待されています。また、入隊当初から強い意志で陸曹を志しており、陸曹としての職能を錬磨する日々を過ごしています。

部隊としても、いち早く陸曹になった若手の中核になることを強く期待しており、激押しで隊員です。



私の趣味



第2整備大隊
偵察戦闘直接支援隊
3等陸曹 梯 直斤

滋賀県特有の琵琶湖一周を楽しんでいると昔サーキット場で見た兄の姿に追いついた気がします。今後の予定は自動車免許も取得したのでバイク運搬用の自動車の購入やグレイドアップ等も考えており楽しみは尽きません。バイクの整備も含め本当にバイクは最高です。

私の趣味はバイクです。兄の影響で自衛隊入隊前からバイクのサーキット場によく連れて行ってもらい、後部座席に乗って一日中楽しんでいました。自衛隊に入り部隊配置となつて貯金もある程度貯まり、まず年次休暇を取得しながら教習所に通い一発で大型自動二輪の運転免許を取得しました。次に念願のバイクを購入し、自分専用のバイクパーツを買い揃えておしゃれに仕上げました。



第2整備大隊
第2普通科直接支援中隊
3等陸曹 中川 博之

昨今のコロナ禍もあり、私達夫婦は新たに旅行という趣味にはあまり、ついに念願であった屋久島旅行を実現する事ができました。心配していた天候も奇跡的に回復し、雲の間から光が差し

すという映画「もののけ姫」のように幻想的な雰囲気にも、私達は雄大な自然に感動の連続でした。一番行きかけたスポートである縄文杉は、登山口から片道徒歩約5時間という厳しい行程でしたが、妻の手を引き翠色の苔むす森にどんだん足を進め、遂に縄文杉に逢う事が出来ました。本物の文杉は道中のどの屋久杉よりも逞しく、悠久の時を感じさせる佇まいは、私達に感動とパワーを与えてくれました。

今後も妻と全国を旅して見聞を広めていきたいと思います。



輸送隊
陸士長 岡田 来実

私の趣味は料理です。豆腐ハンバーグの簡単レシピを紹介します。
①木綿豆腐（1丁）をキッチンペーパーで包み、電子レンジで1分加熱して水切りする ②みじん切りにした玉ねぎ（1/2個）、ニンジン（1/2本）と冷凍のコーン、



枝豆（各適量）を、玉ねぎが色付くまで炒める ③①の粗熱をとった後、大きな欠片が残らないようによく潰す ④ポウルに鶏挽肉（300g）、卵（1個）、パン粉（大きじ2）、②と③、塩コショウ、コンソメ（各適量）を入れ、よく混ぜ合わせる ⑤4等分にし楕円形にして空気を抜く ⑥フライパンに油を引き、軽く温めてから⑤を並べ、よく焼色をつける ⑦一度ひっくり返し、少量の水を加えてから蓋をして蒸し焼きにする ⑧竹串を刺して、透明な汁が出たら皿に盛り付けて完成。そのままでも、ポン酢等好みの調味料をかけても美味しいです。

料理は、自分も周りも豊かにできるとても良い趣味だと思います。皆さんもぜひいかがでしょうか。

地元自慢



本部付隊
陸士長 宮山 寛大

私の地元は鹿児島県奄美大島です。行ったことがあるという方は少ないと思いますので、少しでも興味を持ってもらえるように奄美の良い所や自慢できるところを紹介したいと思います。

奄美と言えば綺麗な海です、透明度も高く本当に美しく、多種多様な海洋生物や珊瑚礁を間近に見ることができ、気温も暖かく5月半ばから10月下旬まで海水浴を楽しめダイビングやホエルウオッチングなど数多くの海に関するアクティビティが充実しており夏を楽しむには最高の場所だと思います。しかし、冬は何もないのでは？と思われる方も多いと思いますが、冬は大きなイカが釣れたり冬にしかならない楽しみもあります。もちろん海に関することだけではなく、アマミノクロウサギやアマミシカワガエル等の固有種の生息や、美味しい郷土料理、そして焼酎など自慢は尽きません。奄美に少しでも興味を持たれた方は、是非奄美に遊びにいらして下さい。



第1整備大隊
施設整備隊
2等陸曹 佐藤 昭典

道も近くにあり、面積は約180万㎡あり、東京ドーム約39個分あり日本で10番目、東北では2番目の面積を誇ります。

第2施設団長が駐屯地指令を兼ねており、施設科が主力となる駐屯地です。

自衛隊の紹介はこのくらいにして、次に観光について説明します。

柴田町としては、特に桜に力を入れて、船岡城址公園という城の跡地の頂上には、高さ24メートルの船岡平和観音があり、そこから眺める景色には日本さくら名所100選にも選ばれた白石川沿いの桜並木である一目千本桜が見れます。

この場所はサザエさんのオープニングに出ているので、宮城県のバージョンになったら見てみるのも良いです。

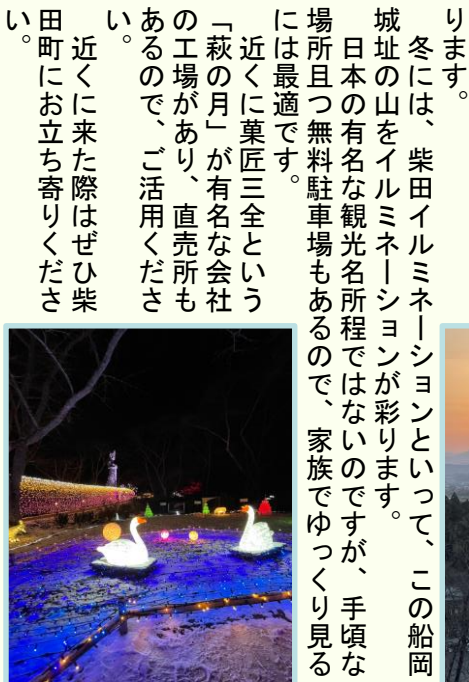
写真はオープニングとは逆方向になりますが、蔵王山、白石川及び一目千本桜が一度に見えるので、非常に見ごたえがあります。

冬には、柴田イルミネーションとあって、この船岡城址の山をイルミネーションが彩ります。

日本の有名な観光名所程ではないのですが、手頃な場所且つ無料駐車場もあるので、家族でゆっくり見るには最適です。

近くに菓匠三全という「萩の月」が有名な会社の工場があり、直売所もあるので、ご活用ください。

近くに来た際はぜひ柴田町にお立ち寄りください。



私の地元は東北地方の宮城県柴田郡柴田町です。皆様に関係する一番の有名な所と言えば、船岡駐屯地が存在します。船岡駐屯地は仙台市から約35kmあり、車で1時間、鉄

定期昇任

上村 2整大	中倉 2整大	松西 2整大	杉本 2整大	竹森 2整大	小川 2整大	堀内 2整大	馬場 2整大	赤川 1整大	吉川 1整大	川野 1整大	益川 1整大	摺建 本部付隊	津浦 本部付隊	青柳 本部付隊	柳原 本部付隊	1等陸曹へ	及川 衛生隊	島野 輸送隊	宮野 1整大	安藤 2整大	岩井 1整大	平野 本部付隊	藤野 本部付隊	藤本 本部付隊	鶴木 2整大	准陸尉へ	新保 輸送隊	福本 補給隊	永田 2整大	3等陸尉へ	小野 衛生隊	清田 衛生隊	中野 2整大	早坂 1整大	樋口 連隊本部	2等陸尉へ	田中 補給隊	安部 2整大	谷口 2整大	前田 連隊本部	伊藤 連隊本部	1等陸尉へ
巖太	枯仁	悠幸	幸雄	清人	広一	洋和	優真	賢男	忠男	竜也	勝至	竜之介	照尊	和男	久美子	重信	文仁	健也	直之	徹也	昭廣	剛	憲史	崇義	憲史	剛	剛	充義	憲史	憲史	将基	大和	結生	優来	伸一	傑	尚哉	尚哉	潤晃	晃	伊傑	伊傑

定年退官者

令和5年6月16日付	令和5年6月6日付	令和5年5月8日付	令和5年5月4日付	令和5年4月28日付	令和5年4月1日付
曹長 河端 重光	曹長 西本 清太郎	曹長 竹山 幸男	曹長 沖田 恵均	曹長 土井 雅之	准尉 岩崎 昌弘
2整大	2整大	2整大	2整大	2整大	2整大

東伊藤	菊谷	西村	品川	森高	木村	小玉	上林	荒納	田中	新田	尾田	岡野	松野	桃井	井口	河内	小椋	3等陸曹へ	徳重	阿部	高城	佐々木	中野	2等陸曹へ
貴宏	大輝	直人	和郎	愁大	雄大	将希	爽一郎	大地	匠平	冬威	伊純	瑠璃波	大輝	亮太	良輔	雄太	芽巳	伊純	謙一	智也	力也	健一	智弘	光貴
衛生隊	衛生隊	輸送隊	輸送隊	補給隊	補給隊	補給隊	補給隊	2整大	2整大	2整大	2整大	1整大	1整大	1整大	1整大	1整大	本部付隊	衛生隊	衛生隊	2整大	2整大	1整大	1整大	本部付隊